

5. 暴露量調査対象物質の分析法概要

物質名	分析法フローチャート	備考
<p>[8]ニトロフェン（NIP 又は2,4-ジクロロ-1-(4- ニトロフェノキシ)-ベンゼン）</p>	<p>【底質】</p> <p>底質試料 湿重量20g</p> <p>振とう抽出 アセトン25mL、10分間</p> <p>超音波抽出 10分間</p> <p>遠心分離 3,000回転で10分間</p> <p>分取 上澄みのアセトン層分取</p> <p>溶媒抽出 5%塩化ナトリウム溶液 400mL ジクロロメタン50mL、10分間 ジクロロメタン100mL、10分間</p> <p>この一連の操作は2回繰り返す</p> <p>脱水 無水硫酸ナトリウム</p> <p>転溶・濃縮 ロータリーエバポレータ アセトン2mLまで</p> <p>フッ素カラム クリーンアップ Sep-Pak Plus フッ素</p> <p>カラム洗浄 アセトン 10mL</p> <p>溶出 アセトン/アセトン(20:80) 10mL</p> <p>濃縮 窒素ガス気流下 約1mLまで</p> <p>活性炭カラム クリーンアップ カートリッジカラム</p> <p>溶出 アセトン/アセトン(50:50) 10mL</p> <p>濃縮 窒素ガス気流下 約2mLまで</p> <p>転溶・濃縮 窒素ガス気流下 アセトン2mLまで</p> <p>濃縮 窒素ガス気流下 2mLまで</p> <p>GC/MS-SIM</p> <p>シリンジスライド添加 p-タートール-d₁₄ 100ng</p> <p>「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」、 「昭和57年度化学物質分析法開発調査報告書」及び 「平成元年度化学物質分析法開発調査報告書」準拠</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM</p> <p>検出下限値： 【底質】（ng/g-dry） [8] 4.1</p> <p>分析条件： 機器 GC：QP-2010 MS：QP-2010 カラム DB-5MS 30m×0.25mm, 0.25μm</p>